



## 学習のふりかえり、学習評価を授業外の時間で行う

<第6学年 「ティーボール」>

ゲームの特性上、授業時間をコントロールすることが難しい学習では、学習中にふりかえりをする時間の確保が難しいことが課題だった。

そこで、授業外にJamboardを活用することで、学習のふりかえりを行えるようにした。時間をしっかりとって考えることができるので、授業中にしていた時以上に、よい気づきがあった。

また、単元末にフォーム作成ツールを活用し、「評価テスト」を出し、主体的に取り組む態度を選択式の問いで、思考・判断・表現等を記述式の問いで子どもたちの評価を行った。授業中に行っていた評価だけでは不十分だったところを埋めるのに、十分に役立った。

▼授業ごとのJamboard

### ICT活用のポイント

- ・授業中の運動時間の確保に大きく役立つ。
- ・オンラインで学習できることで、気づきを共有し、より深く学ぼうとする子が多く見られた。
- ・評価テストは、普段の学習評価と合わせることでより正確に評価できるようになったという実感がある。



### 体育「ティーボール」テスト

ここにテキストを挿入。

名前

記述式テキスト (短文回答)

第1問 ゲームの勝敗をうけいれることができましたか。\*

- できた
- ほとんどできた
- できなかった
- あまりできなかった

第2問 ルールやマナーを守り、仲間と助け合うことができましたか。\*

- できた
- ほとんどできた
- あまりできなかった

▲実際の評価テスト

※評価は、このテストだけで行うものではない

## 6年「鉄棒運動」

### カメラ機能・NHK for School等での手本動画の活用

#### ICT活用のポイント

- ・鉄棒等の器械運動は、上手な手本を教師が示すことが難しいので、子どもたちのタブレットで手本動画を見せながら練習に取り組みさせた。自分のタイミングで動画を止めたり、見たい部分をもう一度巻き戻したりできるので、コツをまとめたプリントを配るよりも、子どもたちにとってわかりやすい資料となっていた。
  - ・カメラの動画撮影をすることで、お手本との動きの違いが比較しやすくなり、グループで「もっと腕を引きつけるといいよ」といった具体的なアドバイスにつながっていた。
  - ・運動が苦手な子も、動画を撮るのは楽しそうで、意欲的な参加につながっていた。
- ※撮影した動画は、単元の終わりには削除することも併せて指導した。





### がんばった記録を残そう！

低学年の持久走・20mシャトルラン・体カテスト

アプリ名 Google Form

低学年でお互いに用紙に記録すると、なかなか正確にできません。今回一人ひとりにタブレットをもたせ、アンケートアプリで集計をすることで、児童が書き込む手間が省け、より正確に互いの記録を取ることができました。自身の頑張りを振り返り、見直すことができました。

#### ICT活用のポイント

- ・記録用のアンケートフォームは、何度も使用することができる。
- ・練習の度に記録をすることで、成長の過程が掲示でき、意欲を高めることができた。
- ・紙でのアンケートより、容易に集計をすることができる。

<第2学年 体育>



授業風景 動画 約8秒

### 算数の練習問題→振り返り

アプリ名 Google Form

授業の最後の適応問題をタブレットのドリルで行いました。課題終了後、アンケートアプリを使って学習の頑張りを振り返らせます。タブレットに記録することで、容易に振り返り活動が行え、記録に残すことができました。

<第2学年 算数 「かけ算」>

#### ICT活用のポイント

- ・低学年では文字入力で考えを書き込ませることが課題であるため、タブレットの音声入力機能で対応する。



音声入力の様子  
動画 約6秒

## 実践を振り返り、次の成長につなげる

体育・音楽・国語の3教科において、自分の姿を動画で記録し振り返ることで、PDCAのサイクルで取り組んだ。

【体育】「縄跳び大会」に向けて、自分の目標を立てさせ、日々の練習の動画を撮影し、結果を記録・分析していくことで、成長の実感や目標の再考ができた。

【音楽】リコーダー練習をさせる上で、指使いが見えるように動画を撮影させ、教師の動画と比較しながら見させることで、音だけでなく視覚的にも自身のミスに気づかせ、改善につながった。

【国語】音読練習・宿題において、自身の音読を撮影させ、範読したものと比較させることで、読み違いや言葉の塊・区切りに気づき、修正することができた。(今回はしなかったが、姿勢などの指導にも活用できると感じた)

### ICT活用のポイント

・動画に映ること自体に抵抗感を感じる児童がいたり、顔が映ることに抵抗感を感じる児童がいるため、撮影する際の画角は

【体育】・・・遠目で全身が映る  
正面でも横向きでもよい

【音楽】・・・指だけが見えればよい

【国語】・・・声だけが入っていればよい

※映りたい子は映ってもOK

と指定することで抵抗感を減らすとよい。

### <第6学年 縄跳び練習>



各自で目標を決めて技にチャレンジ

### <第6学年 リコーダー練習>



リコーダーの指使いを撮影